

# (社)可視化情報学会 第16期事業報告

(2004年[平成16年]6月1日～2005年[平成17年]5月31日)

## I 会誌等出版物の発行

1. 会誌の発行：会誌は第24巻94号～第25巻97号，第24巻増刊号Ⅰ,Ⅱ,Ⅲの7号を発行した。発行部数は会誌各号2000部，増刊号Ⅰ600部，増刊号Ⅱ600部，増刊号Ⅲ200部である。なお，第94号は「脳の構造と機能の可視化 最近の進展」，95号は「可視化情報最前線」，96号は「ダイナミックPIV」，97号は「電子機器の開発・設計に関連した可視化」を特集，第24巻増刊号Ⅰは「第32回可視化情報シンポジウム講演論文集」，増刊号Ⅱは「全国講演会愛媛2004講演論文集」，増刊号Ⅲは「第10回ビジュアルセッションカンファレンス論文集」であった。
2. 論文集のオンライン発行：毎月  
論文集合本の発行：年2回、January～June,2004, July～December, 2004を各2200部発行
3. 英文論文集の発行：英文論文集“Journal of Visualization” Vol.7,No.3～Vol.8,No.2の4号を発行  
発行部数は各500部
4. 会員名簿の改訂：2004年7月
5. 新規書籍の発行：(1)可視化情報ライブラリー第5巻を朝倉書店より発行  
(2)可視化技術ハンドブックの編集
6. その他の刊行物：(1)講習会「可視化フロンティアⅡ」(2004年11月)、「可視化フロンティアⅢ」(2005年5月)のテキスト
7. 映像作品の収集・製作  
(1)学会映像集第3作『生物と可視化(仮称)』の編集  
(2)流体工学教育用ビデオ『流れをビデオで』第3,4の編集の検討  
(3)可視化情報に関する映像作品ライブラリーのホームページ掲載や会員間の活用の検討

## II 総会，シンポジウム，講習会等の開催

1. 総会，シンポジウム，講演会等の開催および準備
  - (1) 第16期通常総会(2004年7月19日，工学院大学)の開催
  - (2) 第32回可視化情報シンポジウム(2004年7月19日～21日，工学院大学)の開催
  - (3) 全国講演会(愛媛2004)(2004年9月27日～9月28日，放送大学愛媛学習センター)の開催
  - (4) 第10回ビジュアルセッションカンファレンス(2004年10月8日，東京・タイム24)の開催
  - (5) 第33回可視化情報シンポジウム(2005年7月25日～27日，工学院大学)の開催準備
  - (6) 全国講演会(新潟2005)(2005年10月31日～11月1日，新潟・朱鷺メッセ)の開催準備
  - (7) 第11回ビジュアルセッションカンファレンス(2005年10月21日，東京・タイム24)の開催準備
2. 国際シンポジウム等の開催・協力
  - (1) International Conference on Advanced Optical Diagnostics in Fluids, Solids and Combustion(VSJ-SPIE04)(2004年12月4日～12月6日, Tokyo,Japan)の開催
  - (2) 4th World Congress on Industrial Process Tomography (WCIPT4)(2005年9月5日～8日, Aizu,Japan)の開催準備
  - (3) 11th International Symposium on Flow Visualization (ISFV11)(2004年8月9日～12日, Notre Dame, USA)への協力
  - (4) 8th Asian Symposium on Visualization (ASV8)(2005年5月23日～5月27日, Chiangmai, Thailand)への協力
  - (5) 8th International Symposium on Fluid Control, Measurement and Visualization (8th FLUCOME)(2005年8月22日～8月25日, Chengdu, China)への協力
  - (6) PIVチャレンジ2005(2005年9月19日～20日, Pasadena, USA)への協力
  - (7) 6th International Symposium on Particle Image Velocimetry (PIV05)(2005年9月21日～23日, Pasadena, USA)への協力

### 3. 講習会等の開催・企画

- (1) 定期講習会(可視化フロンティア)第2回「CTと3D可視化」(2004年11月16日～11月17日, 東京・日本大学)の開催
- (2) 定期講習会(可視化フロンティア)第3回「PIVの基礎と応用」(2005年5月10日～11日, 東京・工学院大学)の開催

### Ⅲ 賞の授与等

#### 1. 可視化情報学会論文賞

寺坂晴夫、清水泉介、竹島由里子(東北大学)、可視化のための大規模数値データの圧縮と復元  
Yamamoto, Y., Uemura, T. (関西大学)、A New Super-Resolution PIV Accelerated by Characteristic Pixel Selection

#### 2. 可視化情報学会技術賞

Hori, T., Sakakibara, J. (筑波大学), Aramaki, S., Hayami, H. (九州大学) Scanning Stereo-PIV for 3D Velocity Measurement

Mitsuo, K., Asai, K. (JAXA), Hayasaka, M., Kameda, M. (東京農工大学) Temperature Correction of PSP Measurement Using Dual-Luminophor Coating

#### 3. 可視化情報学会奨励賞

瀧脇正樹(九州工業大学)

参考業績: Fuchiwaki, M. Tanaka, K., Kaneto, K. (九州工業大学) Flow Control by an Artificial Muscle

#### 4. 可視化情報学会映像賞 S G I 賞

Modem, S. and Garricks, S.C. (University of Minnesota), Nanoparticle Coagulation in a Temporal Mixing Layer Mean and Size-selected Images

岡本秀伸、能見基彦、勝俣辰善(荏原総合研究所) 多色油膜法によるポンプ内部流れの可視化およびキャビテーションの可視化

#### 5. 第32回可視化情報シンポジウムグッドプレゼンテーション賞

新井崇洋(筑波大学)、ベーストリガ蒸気爆発における超高速伝熱現象の可視化観測

渡辺富夫(岡山県立大/科学技術振興機構)、3Dオブジェクトを用いた音声駆動型身体的引き込みシステム

#### 6. 全国講演会(愛媛2004)プレゼンテーション賞

[グッドプレゼンテーション賞]

築地徹浩(上智大学)、油圧用ボール弁内の可視化と改良

[グッドプレゼンテーション賞 奨励賞]

赤澤潤(北海道工業大学) 二次元噴流初期領域における渦構造とエンTRAINメントの関連性

中嶋尚広(愛媛大学) T字型配管合流部の流動特性に及ぼす乱流プロモータの影響

#### 7. 第10回ビジュアライゼーションカンファレンスグッドプレゼンテーション賞

古市幹人(地球シミュレーターセンター)地球シミュレーターにおける海洋大循環シミュレーション(OFES)での大気海洋現象の可視化

#### 8. 名誉会員の推挙(第16期通常総会において次の方を推挙)

辻井 剛、魏 慶鼎(WEI Qing-Ding)

#### 9. シニア会員の推挙(第15期第6回理事会において次の9人の方々を承認, 第16期通常総会にて紹介)

馬渡 勝彦, 中林 功一, 中谷 登, 熊谷 輝雄, 藤川 敬二, 大見 忠弘, 松尾 守之, 高橋 豊, 三宅 裕

#### 10. 特別功労賞の授与

小嶋正男

#### IV 委員会・研究会等の活動

##### 1. 理事会・委員会等の開催（括弧内は委員長名）

通常総会	1回
理事会	7回
総務委員会（岡本孝司）	6回
会誌編集委員会（望月修）	4回
論文集編集委員会（藤田一郎）	2回
企画委員会（西野耕一）	4回
シンポジウム委員会（小保方富夫）	4回
映像委員会（石綿良三）	1回
表彰委員会（山本勝弘）	3回
英文論文集編集委員会（中山泰喜）	8回
協力研究委員会（平原裕行）	1回
可視化情報センター委員会（岡本孝司）	1回
全国講演会（愛媛2004）実行委員会（越智順治）	3回
全国講演会（新潟2005）実行委員会（藤沢延行）	3回
ASV国内委員会（小林敏雄）	1回
可視化情報ライブラリー編集委員会（中山泰喜）	3回
可視化技術ハンドブック編集委員会（谷田好通）	1回
流れの可視化国際シンポジウム(ISFV)国内委員会（植村知正）	1回
ビジュアルイノベーションカンファレンス実行委員会（横野泰之）	4回
流体の計測・制御と可視化に関する国際シンポジウム(FLUCOME)国内委員会（川橋正昭）	1回
粒子画像流速測定法国際会議(PIV)国内委員会（岡本孝司）	1回
流体・熱・燃焼現象に関する光応用技術・画像処理国際会議(VSJ-SPIE)国内組織委員会(川橋正昭)	3回
産業プロセストモグラフィ国際会議(WCIPT)国内委員会（飯野利喜）	3回
文化フォーラム委員会（中山泰喜）	1回

##### 2. 研究会の活動

- (1) 風洞研究会(主査：高木通俊)
- (2) 可視化情報教育研究会(主査：青木克己)
- (3) 映像生物学研究会(主査：清野聡子)
- (4) ビジュアルデータマイニング研究会（主査：藤代一成）
- (5) 先端PIV研究会(主査：小林敏雄)
- (6) マイクロビジュアルイノベーション研究会（主査：川橋正昭）
- (7) ウェブレットと知的可視化の応用研究会（WSV研究会）（主査：李鹿輝）
- (8) 産業プロセストモグラフィ(CT)研究会（主査：有富正憲）

#### V 共催・協賛

##### 1. 共催

- (1) 第23回混相流シンポジウム(2004年8月5日～7日、日本混相流学会)
- (2) 第11回流れの可視化国際シンポジウム(ISFVII)(2004年8月9日～12日、ISFV国際組織委員会)
- (3) International Conference on Jets and Separated Flows(JCJWSF2005)(2004年10月5日～7日、三重大学)
- (4) 国際伝熱フォーラム(IFHT2004)(2004年11月24日～26日、日本伝熱学会)
- (5) 第42回燃焼シンポジウム(2004年12月1日～3日、日本燃焼学会)
- (6) 設計工学シンポジウム(2004年12月14日～15日、日本学術会議)

## 2. 協 賛

- (1) 第10回画像センシングシンポジウム(2004年6月9日～11日、画像センシング技術研究会)
- (2) 計測自動制御学会関西支部講習会(2004年6月17日、計測自動制御学会)
- (3) 3次元画像コンファレンス2004(2004年7月1日～2日、3次元画像コンファレンス実行委員会)
- (4) 第270回講習会 設計に使える熱流体解析の基礎と応用(2004年7月15日～16日、日本機械学会関西支部)
- (5) 第6回内燃機関燃焼の診断とモデリングに関する国際会議(2004年8月2日～5日、日本機会学会)
- (6) 第23回日本医用画像工学会大会(2004年8月4日～5日、日本医用画像工学会)
- (7) 第23回混相流シンポジウム(2004年8月5日～7日、日本混相流学会)
- (8) 日本流体力学会年会2004(2004年8月9日～11日、日本流体力学会)
- (9) 第10回流れと遊ぶアイデアコンテスト(2004年8月21日～22日、日本機械学会)
- (10) 流体力学基礎講座(2004年9月2日～3日、日本機械学会)
- (11) 第52回レオロジー討論会(2004年9月22日～24日、日本レオロジー学会・日本バイオレオロジー学会)
- (12) ATF/TFI2004(2004年11月11日～12日、東北大学流体科学研究所、ATF/TFI2004実行委員会)
- (13) 計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会(2004年11月18日～20日、計測自動制御学会)
- (14) ウィークエンドセミナー(2004年11月19日、日本機械学会関西支部)
- (15) 第47回自動制御連合講演会(2004年11月26日～27日、日本機械学会)
- (16) 第54回システム制御情報講習会(2004年11月29日～30日、システム制御情報学会)
- (17) 第3回戦略的基盤ソフトウェアの開発シンポジウム(2004年12月8日～9日、東京大学生産技術研究所)
- (18) 日本機械学会関西支部第273回講習会(2004年12月8日～9日、日本機械学会関西支部)
- (19) 実験流体力学—流体実験・計測の基礎(2004年12月11日～12日、日本機械学会)
- (20) 第18回数値流体力学シンポジウム(2004年12月15日～17日、日本流体力学会)
- (21) 計算力学技術者認定試験及び付帯講習(2004年12月17日～18日、日本機械学会)
- (22) 第13回微粒化シンポジウム(2004年12月21日～22日、日本液体微粒化学会)
- (23) 第12回超音波による非破壊評価シンポジウム(2005年1月27日～28日、日本非破壊検査協会)
- (24) 第5回放射線による非破壊評価シンポジウム(2005年2月3日、日本非破壊検査協会)
- (25) 平成16年度衝撃波シンポジウム(2005年3月17日～19日、東北大学流体科学研究所)
- (26) 第39回空気調和・冷凍連合講演会(2005年4月20日～22日、空気調和・衛生工学会)
- (27) 第10回日本計算工学会講演会(2005年5月31日～6月2日、日本計算工学会)

## 3. 後 援

- (1) 2004年度上智大学公開講座(ビジュアルイゼーション(科学技術における応用)、(2004年4月～2005年1月、上智大学理工学部、上智大学学習センター)
- (2) GISカンファレンス2004(2004年7月15日～16日、GISカンファレンス実行委員会・地理情報システム学会)
- (3) 神奈川科学アカデミー平成16年度教育講座(2004年7月15日～16日、2004年7月22日～23日、神奈川科学技術アカデミー)
- (4) 第13回日本バイオイメーjing学会学術集会(2004年11月5日～7日、日本バイオイメーjing学会)
- (5) 立体映像産業展(2004年12月1日～3日、立体映像産業推進協議会)

## VI その他の事業

1. (社)可視化情報学会(Visualization Society of Japan)／中国流れの可視化学会(Chinese Society of Flow Visualization)の協力協定書の調印(2004年9月27日、愛媛・放送大学愛媛学習センター(愛媛大学城北キャンパス内))

## Ⅶ 会員の現況・役員

### 1. 会員の現況（2005年5月22日理事会承認）

正会員1322名，賛助会員92社105口，学生会員31名，名誉会員29名

### 2. 役員

会長 飯野 利喜（東京大学）  
副会長 山本 勝弘（早稲田大学）  
水野 明哲（工学院大学）  
中西 清（コンボン研究所）

#### 理事

##### 総務理事

岡本 孝司（東京大学） 藤沢 延行（新潟大学）  
松本 洋一郎（東京大学） 横野 泰之（(株)東芝）

##### 財務理事

日比 一喜（清水建設（株）） 石綿 良三（神奈川工科大学）

##### 編集理事

望月 修（東洋大学） 青木 克己（東海大学）  
禰津 家久（京都大学） 姫野 龍太郎（理化学研究所）  
藤田 一郎（神戸大学）

##### 企画理事

西野 耕一（横浜国立大学） 香川 利春（東京工業大学）  
山口 隆美（東北大学） 後藤 彰（(株)荏原総研）  
宮地 英生（(株) KGT）

#### 監事

亀岡 利行（東京電機大学） 大島 裕子（元（株）リコー）